

広島市教育センター所報

No.16
昭和59年6月

広島市教育センター

広島市東区北田新町一丁目17番1号

〒730 電話 (082) 223-3563

このごろ思うこと

広島市教育センター所長 下西茂樹

夫の転勤のため東京で生活している知人から近況を知らせる便りが届いた。

「……私のところも次女が中2ですが、教育問題というより進学問題では、学校より塾だのみというのが本音です。80%近くが塾に通っているのではないのでしょうか。

学力保障は塾でというのが現状のようです。

どこか間違っていると思っても、目先のハードルは越さなくてはなりませんから……

それにしても、教育に金がかかると最近頭をかかえています。長女の大学の問題もありますし、学力よりも親の経済状態が問題になってくるのです。公立に入れなから仕方がないだけではすまないような気もしますが、まあ、とにかく月謝の安い所へ入ってくれるよう祈っています。こんなふう^{おぞく}に世の親族はなげいているのです。」その続きには今の学校教育に対する期待と、教育界の一隅に籍を置く私に対して奮起をうながす言葉で結んであった。

どこにでもあるような悩みでありながらも今日の教育制度や学校教育のあり方を考えさせる内容であると思う。

今、我々の周囲には、いたるところで学校教育に対する不信・批判が見受けられる。

しかし、考えてみれば、学校や教師が非難を受けるのは、それだけ期待が大きいのであって、もし、学校が完全に信頼を失っていると

したら、保護者や社会もその非難をあきらめてしまうかも知れないという論もある。

一方、現在の学校の荒廃は、学校だけのせいではなく、急激に変動する社会と、それに伴う家庭生活の変化等が原因で、そのしわ寄せが学校教育にきているのだという論もある。

たしかに、今の教育問題は学校だけでは解決できない問題を数多く抱えている。

しかし、教職にある者が、他の要因のみに救いを求めて、目前の子供達の問題を転嫁するような状況が生まれたとすれば、教育という仕事の社会的な意味を自ら軽視したことになり、さらに世間から信頼を失うのではなからうか。

教育にとって受難の時代であるからこそ、子供達が変わってきたという事実をつくり出す教育の営みが緊要な課題であると思うのである。

多くの矛盾を抱えながらも、それぞれの学校でこのことに目を向け、不断の努力がなされているのが現状ではなからうか。

それだけに、現代の学校や教師の悩みを一校・一教師の問題に止めないで、はば広く研鑽し、解決への展望をもつような研究や講座のあり方について、当教育センターでも模索していかなければならないと考えている。

より多くの方々の参加と、意見をいただきたいと思っているこのごろである。

誌 上 講 座

今回から、当教育センター指導主事が、それぞれ担当している講座を通しての気づきや開発教材などについて紹介します。

第1回は、算数科と技術・家庭科をとりあげました。

◆算数科における課題の設定について

指導主事 民安和昭

児童は、既知のことを手がかりとして、可能な限り自らの力で未知の問題を解決していく中で、数学的な考え方を身につけていくことができる。

この数学的な考え方を育てるためには、児童が未知のものに挑戦しようとする意欲のおきる課題を、学習のねらいに沿って設定することが重要である。

2年生の教材を例にとって考えてみよう。

長さの指導で、単位の必要性に気づかせ、測定の意味を理解させる場がある。ここでは、電話でお誕生日会に使う輪かぎりの長さを二人で比べる場を、物語化して設定し、輪かぎり7こと5ことでは、どちらが長いかを考えさせる。すると、「7こが長い」「輪の長さが違うかもしれないので比べられない」「糊しろの長さによって輪の長さが違う」等、いろいろの考えが児童の経験の中から出てくる。ここから、同じ単位の長さで測定することの必要性に気づく。そして、数え棒などを使って測り取る操作を通して、長さは一つ分の長さをもとに、その「いくつ分」かで比べられることを理解するであろう。

学習のねらいによっては、ゲーム化、劇化あるいは、操作活動等を通して、知的好奇心に訴える課題を設定することも必要であろう。算数科の授業を問題解決の指導の場とするために、どのような学習の場で、どのような課題を設定すればよいか、互いに研修をすすめていきたいと思います。

◆技術・家庭科における安全指導

——教室内に「安全規則」の常掲を——

指導主事 中村道徳

技術・家庭科の教科経営は、実習室に入ればその状況が一目でわかると言われている。この教科では、実習を伴う授業が大部分を占め、それだけに、教室内にある機械・工具・器具や材料等の管理の仕方や扱い方などが日常の学習活動に大きく影響することはいうまでもない。また、このような教科の特性から常に危険が伴うことも予想されるので、今一度、教室の管理と安全に対して、十分配慮しておくことが必要であろう。

その一つとして、教室内の機械・工具・電気・ガス等の設備や材料の取り扱い・管理、教室内での行動の仕方など、教室の環境や生徒の実態に応じて、生徒が必ず守らねばならない「安全管理規則」等を常掲し、常に安全に対する注意を促すことも必要である。

今までの事故事例では、機械設備等の危険防止が不完全なために生じたものと、生徒の動作が不安全なために生じたものとに大別できるが、その根底には、指導者の安全管理に対する細かな指導と配慮が行き届いていなかった場合が多いようである。釘一本、縫い針一本が重大事故

につながらないよう、教室の管理と安全指導の徹底に力をそそぎたいものである。

第1製作実習室安全管理規則

- 1 部屋の使用にあたっては責任者に届け出てください。使用後は清掃を行い、清掃を完了します。
- 2 機械・工具等は常に整備されていますが、使用前に異状の有無を点検し、万一不具合の場合は使用しず。
- 3 指示に従って作業を行ってください。作業終了後は必ず片付けを行い、片付けが終わった場合は、この部屋で作業してください。
- 4 各種の工作機械を使用する場合は、必ず安全規則にしっかりと従ってください。一般的な注意事項は、①～④の項目に詳しく記載されています。⑤～⑧の項目は、安全規則に詳しく記載されています。⑨～⑪の項目は、安全規則に詳しく記載されています。⑫～⑬の項目は、安全規則に詳しく記載されています。⑭～⑮の項目は、安全規則に詳しく記載されています。⑯～⑰の項目は、安全規則に詳しく記載されています。⑱～⑲の項目は、安全規則に詳しく記載されています。⑳～㉑の項目は、安全規則に詳しく記載されています。㉒～㉓の項目は、安全規則に詳しく記載されています。㉔～㉕の項目は、安全規則に詳しく記載されています。㉖～㉗の項目は、安全規則に詳しく記載されています。㉘～㉙の項目は、安全規則に詳しく記載されています。㉚～㉛の項目は、安全規則に詳しく記載されています。㉜～㉝の項目は、安全規則に詳しく記載されています。㉞～㉟の項目は、安全規則に詳しく記載されています。㊱～㊲の項目は、安全規則に詳しく記載されています。㊳～㊴の項目は、安全規則に詳しく記載されています。㊵～㊶の項目は、安全規則に詳しく記載されています。㊷～㊸の項目は、安全規則に詳しく記載されています。㊹～㊺の項目は、安全規則に詳しく記載されています。
- 5 移動の際は、直立方向・場所直し方に気を付けてください。
- 6 危険な作業を行う場合は、必ず安全規則に詳しく記載されている注意事項に従ってください。
- 7 危険な作業を行う場合は、必ず安全規則に詳しく記載されている注意事項に従ってください。
- 8 危険な作業を行う場合は、必ず安全規則に詳しく記載されている注意事項に従ってください。

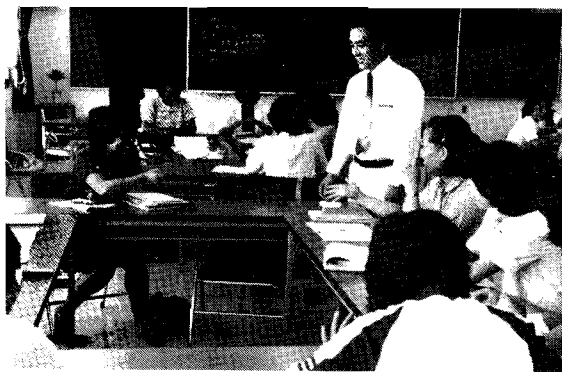
教育センター常掲の「安全管理規則」

研修講座案内

当教育センターでは、昨年度154の講座を実施し、延べ10,722名の方々が研修をされました。本年度は昨年度の講座を整理・統合し、その一層の充実を図るとともに、新設の講座を含めて159講座を実施します。積極的に御参加ください。ここでは、新設講座を紹介します。

◆中学校特別活動指導講座

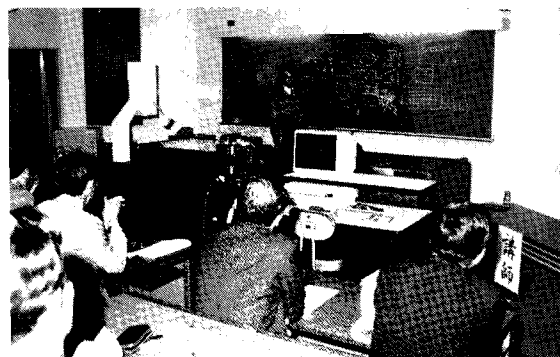
特別活動は、学級づくりの要ともいえる大切な領域です。この講座では現代の中学生の実態をふまえて、生徒の自主的・実践的態度を育てる学級会活動や学級指導の進め方等について、実践事例を中心に研修します。



小学校特別活動指導講座（学級会活動）

◆マイクロコンピューター研修講座

最近、学校教育の中にも情報処理教育がとりあげられ、コンピューターの利用が行われるようになりました。この講座では、高等学校の先生方を対象に、マイコンの操作や教育的活用等について研修します。



マイコン操作

◆養護教職員研修講座

この講座では、最近の児童生徒の心身の発達や保健指導上の問題にポイントをおいた内容を取り上げます。児童生徒一人ひとりの保健管理と、安全で楽しい学校生活が過ごせるための指導のあり方等について考えていきます。

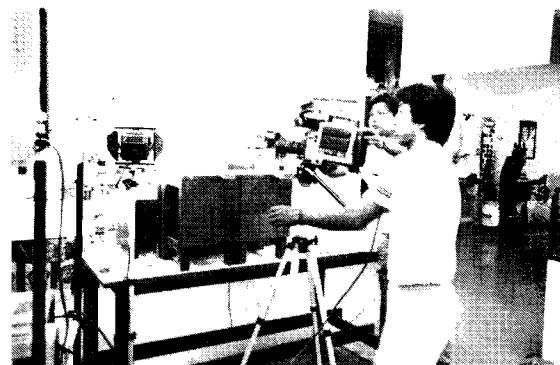
随時研修案内

昭和58年度 教育センターで随時研修をされた方々 延べ3,379名

教育センターでは、自主的に研修や研究を進めておられる方々のために、センターを広く利用していただいております。

昨年度は、延べ3,379名の方々がセンターの施設・設備を活用し、個人やグループ、校内研修等で随時に研修を進められました。

今年度も教材研究、資料作成、実験や製作等の研修に御活用ください。



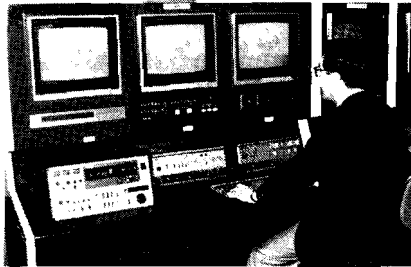
ビデオ教材作成

視聴覚教材作成のおすすめ

当教育センター4階の各教育工学室には、視聴覚教材作成等で活用できる施設・設備が整っています。その中のいくつかを紹介します。

教材開発関係

◆総合調整室



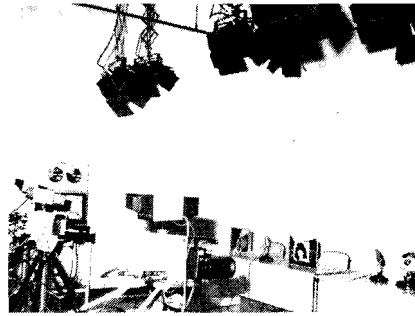
ビデオ編集装置

総合調整室では、ビデオの編集が自在にできます。利用にあたって、特につ

ぎの点に注意していただくと、よりよいビデオの編集ができると思います。

- 1 ビデオの録画はVHS・ β 共に標準速度で撮ってください。3倍速は編集後の仕上がりがきれいにできません。 β_3 は不可能です。
- 2 ビデオカメラは三脚にしっかり固定してください。そうすると画面が安定します。
- 3 ビデオカメラにホワイトバランス調整装置が付いていれば、撮る場所が変わる度に必ずその調整を行ってください。カラーが美しく撮れます。
- 4 ビデオテープはできるだけハイグレードタイプを使ってください。編集、ダビング後の画質の劣化が少なくてすみます。
- 5 編集器は β ・Uマチック用です。そのためビデオテープがVHSの場合は、編集に時間がかかります。VHSテープの編集時間は、そのテープの録画時間の約3.5倍を目安としてください。
- 6 画面に文字を入れるときは、次のような点に注意してください。
 - ・ 黒画用紙に白色で文字を書く。
 - ・ 黒画用紙の縦・横の比は3：4です。
 - ・ 黒画用紙の大きさは、ハガキ大から八つ切りの半分ぐらいまでです。

◆スタジオ



目的に沿って自由に使用できます。

業務用のテレビカメラ、デッキ、プロ用マイク、優れた照明装置等が完備して

音楽関係

◆第3教育工学室（音楽演習室）



M L 装置

集団の中でだれにも気をつかわずに、個別に奏法や伴奏の練習ができます。

演奏を即座に録音できるので、演奏技術の向上や鑑賞教材作成にも利用できます。また、

語学関係

◆第4教育工学室（語学演習室）



音声教材編集送り出し装置

この装置はアナウンズブースとも連結し、マトリックス・スイッチによって、マスターテープのコピー作業も4倍速で行うことができます。また、ポーズコントローラーも備えてあり、教材作成に使用できます。

また、

教育研究二題

教員特別研修生（58年度後期）として、6か月の研修を終了されたお二人の先生の研究の概要を紹介します。

◆読み手によく分かる作文（3年生）の指導法 —説明文を三段構成で書く指導を通して—

広島市立戸山小学校教諭

竹内 葉子

児童の作文を読むと、頭の中に浮かんでく
ることをそのままに書きつけているだらだら
文が多い。書こうとすることの中心がはつき
りせず、何が言いたいのかよくわからない。

そこで、書きたいことの中心が明確な作文
を書かせるために、説明文の作文単元で次の
指導を行い、その有効性を確かめようとした。

- 1 読み手にわかるようにと意識しながら書かせる。
- 2 ばらばらで、とりとめのない思考をまとめ、順序をつけて叙述する三段構成の型を理解させて書かせる。

実証授業は、「調べたいことを」（光村・三上）を7時間の計画で行った。まず、指導前に書いた説明文は「よくわかる」かどうか自己評価・相互評価をさせ、次に、「よくわかる」書き方として、「はじめ」の部分で話題提示「なか」の部分で提示した話題の説明、「おわり」の部分で全体をまとめる方法、三段構成を理解させ、最後に、指導前に書いたものと同じ題材の説明文と自由選材による説明文を書かせた。

指導後の児童の作文を分析すると、

- 1 半数以上の児童が読み手によくわかる説明文が書けるようになった。
- 2 80%の児童が、「なか」の部分に書きたいことをまとめて書けるようになった。
- 3 作文に対するつまずきが、作文からの逃避から、よりよい表現を求めるものへと変わってきた。

などの好結果が得られた。

◆口数が少なく集団にとけこみにくい児童の 理解と指導について

広島市立長東西小学校教諭

渡辺美紀子

日々の生徒指導において、大声を出したり粗野な行動をとる児童に目を奪われ、無口でおとなしい児童への指導を忘れがちになることがある。このような児童一人ひとりが、学校生活の中で自己を素直に表現し、生き生きと過ごすようにするために、児童の特性をとらえ、それに基づいて、集団生活における人とのかかわりの中で表出行動をもたらず指導のあり方を明らかにしようとした。

口数が少なく集団にとけこみにくい児童について、児童の集団生活に対する意識、親子のかかわり、集団の中での児童の行動特徴についてアンケート調査した。その結果、

- 1 集団に対して消極的である。(集団の思いやりの欠如、過去の心理的外傷体験も原因)
- 2 友人とのかかわり体験が乏しい。
- 3 動作が緩慢で行動範囲も狭く、運動量も少ない。(自信のなさ)
- 4 意志表示が弱い。
- 5 学力・運動能力の不調、不振がみられる。
- 6 養育態度からくる社会性の未熟がみられる。

などの特性がとらえられた。さらに、このような特性を持つ児童の自己表出を促す条件をとらえるために事例研究を進めた。体育学習における行動観察の結果、伸び伸びとした安定的自己表出を促す条件として①子供をよく見ること、知ること、②受け入れ、受け止めること、③「わかる」「できる」という満足感や意欲を持つ場面を配慮すること、④仲間と身体の触れ合える場面を作ることなどの必要性が明らかになった。

教育センターニュース

研究紀要刊行

当教育センターでは、当面の緊要な教育課題について、共同研究を進めております。このたび、この研究の一端を「研究紀要第3号」として刊行しましたので、御覧ください。

教員特別研修生の研修始まる

今年度前期は次の方々が、それぞれの専門分野で研修を進めておられます。

◆生徒指導：松田孝司教諭（八木小学校）

研究題目：創造的自己実現活動を生かした生徒指導のすすめ方に関する研究

◆教育相談：森下公二教諭（船越中学校）

研究題目：生徒のもつ悩みを解決する力を育てるための指導・援助に関する研究

人事異動

◆ 離退任

- 岩竹亨所長（舟入高等学校長へ）
- 森川明水主任指導主事（市教委指導課へ）
- 田淵裕子指導主事（退職）
- 反田英明主事（安佐北高校へ）
- 中野豊三主事（平和記念館へ）
- 新宅力歳研修指導員（退職）

◆ 着任

- 下西茂樹所長（天満小学校長より）
- 竹本建治指導主事（鈴が峰小学校より）
- 山本武美指導主事（緑井幼稚園より）
- 岡本康雄主事補（新規採用）
- 吉村幸雄研修指導員（元牛田小学校）

編集後記

今年度最初の所報をお届けします。今回は研修講座や随時研修へのお誘いを中心に編集しました。

積極的な御利用をお願いします。

館内を飾る先生方の作品

今年度も広島市立学校の美術・書写関係の研究会に所属されている先生方の作品34点を館内に展示させていただいております。

研修の合間に御鑑賞ください。



展示中の作品

職員・分掌

部	事業等	職名	氏名	担当業務
		所長	下西茂樹	所務総括
		次長	末森一男	所務管理・執行
管理部	管理・経理	主任	小久保武義	部内総括、施設設備の維持・管理
		主事	米海谷恭子	公印、給与、文書処理等
		主事補	岡本康雄	予算、決算、経理等
第一研修部	教育相談・広報	主任指導主事	原克昭	部内総括、障害児教育
		指導主事	橋本郁	生徒指導、教育相談
		指導主事	宮河治	障害児教育、教育相談
		指導主事	山本武美	幼稚園教育
		指導主事	升尾好博	特別活動、同和教育
		指導主事	(兼)有村憲一郎	教育相談
		指導主事	(兼)伊藤守夫	教育相談
		教育相談員	横山元明	教育相談
第二研修部	研究図書資料整備教育工学	主任指導主事	中土井正彦	部内総括、社会科、道徳
		指導主事	佐々木英美子	国語科
		指導主事	木本寿直	教育工学、視聴覚教育
		指導主事	福原紘治郎	外国語(英語)科
		指導主事	民安和昭	算数科、数学科
		研修指導員	吉村幸雄	教育工学、視聴覚教育
		図書資料室嘱託	川原榮子	図書資料関係事務
第三研修部	研修・企画	主任指導主事	坂本信義	部内総括、図画工作科、美術科
		指導主事	重末久人	理科
		指導主事	二宅周平	理科
		指導主事	中村道徳	家庭科、技術・家庭科
		指導主事	竹本建治	音楽科
		研修指導員	野澤恒夫	理科
		研修指導員	茶木米男	家庭科、技術・家庭科

(兼)は兼務